

宮之城出張所だより

川内川の情報

をお伝えします

No. 7

H25. 9.18

〔発行〕 国土交通省
川内川河川事務所
宮之城出張所

お知らせ

※今回は、鶴田ダム再開発事業の特集号です。

洪水被害の軽減を図るため、洪水時に鶴田ダムに貯める水量を約1.3倍に増やす「鶴田ダム再開発事業」を実施しています。

◎鶴田ダム再開発事業の工事進捗状況（平成25年9月現在）

放流管増設のためのダム本体の削孔（穴あけ）に5月18日より着手し、削孔作業は順調に進んでいます。

また、昨年度に引き続き、ダム堤体下流側では、増設減勢工（ダムからの放流水の勢いを弱める水路施設）の工事を行っています。

全体写真 8月撮影



堤体削孔（穴あけ）は、現在も順調に進んでいます。

増設減勢工（放流水の勢いを弱める水路施設）工事

鶴田ダム再開発事業に関するお問合せはこちらへ

薩摩川内市東大小路町20番2号

国土交通省川内川河川事務所

開発工務課 電話：0996-22-3282

工事課 電話：0996-22-3252



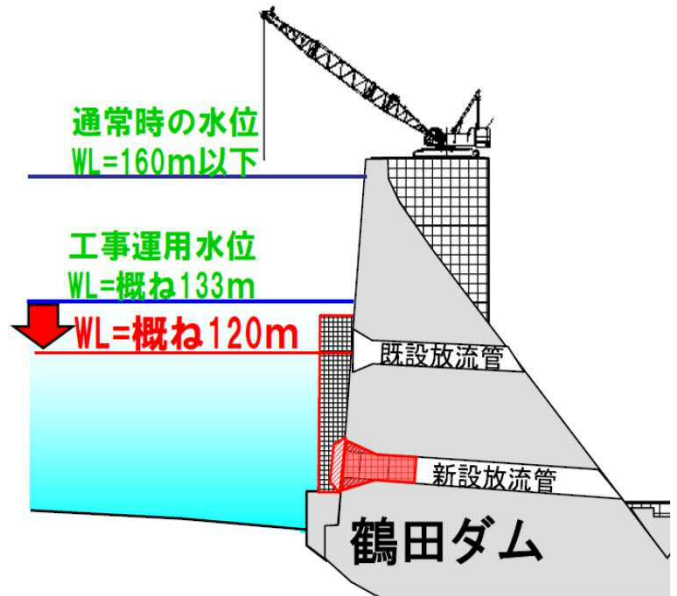
堤体削孔（孔あけ）状況

◎ダムを水位を低下させるためにダム放流を開始します

平成23年10月からダムの水位を通常より下げて工事していますが、呑口部(上流端)の放流管や制水ゲートを設置する時には、ダムの水位をさらに下げる必要があります。

そのため、10月16日から翌年3月15日までは、ダムの水位を低い状態で維持するために、放流管を全開にして平常時はダムへ流入する水をそのまま下流に流します。

* 10月1日よりダムからの放流を開始し、10月15日までかけて水位を徐々に下げていくため、この期間は、通常より川の水が増えますのでご注意ください。



水位低下の模式図

■鶴田ダム再開発事業<事業計画の見直しについて>

・鶴田ダム再開発事業の事業費・工期を以下のとおり変更しました。

1) 事業費: 460億円 → 711億円(251億円増)

2) 工期: H19年度～H27年度 → H19年度～H29年度(2年延長)

・主な変更理由は以下のとおりです。

1) 現場条件が異なるなど設計条件見直しに伴う増(放流施設の形状変更、法面工の面積及び減勢工の延長増加等)

2) 事業着手後の要因による変更(増)(地すべり対策の追加、潜水作業工法の変更等)

・なお、工期は2年延長しますが、当初の予定通りH27年度末に再開発事業による洪水調節効果を発揮します。

「宮之城出張所だより」は、ホームページに掲載されています

川内川の出来事や工事(さつま町)などの情報を、住民の方々に提供するために「宮之城出張所だより」を発刊しています。

また、川内川河川事務所ホームページ(新着情報&お知らせ)でも閲覧できます。

川内川に関する情報、意見などお寄せ下さい。

◇ ホームページアドレス ◇

<http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/>



川内川についてのご意見・要望等はこちらへ

薩摩郡さつま町虎居868-1

国土交通省川内川河川事務所

宮之城出張所 電話: 0996-53-1756



宮之城出張所 庁舎